謹賀新年

城東区の社会福祉

発行所
社会福祉法人
大阪市城東区社会福祉協議会
発行人
駒井信義
編集
広報福祉部会
大阪市城東区中央3丁目4番29号
城東区役所内
電話（932）1351

題字は駒井区社協会長

福祉は住民全体の盛りあがりから
期待に応える地域社協を

社会福祉法人　大阪市城東区社会福祉協議会
会長・駒井信義

新年あけましておめでとうございます。

昭和五十八年の年頭にあたり、皆様方には、ますますご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと心からおよろこび申しあげます。

平素は、当城東区社会福祉協議会に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、当協議会は、戦後の混乱の中から、社会がようやく立直りかけた頃、地域福祉活動を進めるため、住民自身による自主組織として、昭和二十六年一月二十九日に結成されたわけであります。

顧みますと各種の調査活動をはじめ硬貨募金、善意銀行、心配ごと相談所、共同募金事業への協力、敬老月間運動等、役員各位、関係団体、行政機関のたゆまざるご尽力によりまして、幅広い活動を展開し、昭和五十一年八月六日には市内二十六区中初めて法人として認可され、組織整備と基盤づくりのための会員制度を確立したのでございます。

また、広報活動として「城東区の社会福祉」の発行、さらに青少年健全育成事業等、福祉のニーズにあわせた活動を続けてまいりました。

これからの社会福祉は、世界的不況による輸出不振、内需の低迷など、長びく不況を反映して、第二次石油ショック以来の厳しさとなっている情勢の中で、地域福祉サービスをはじめ、到来する高齢化社会の諸問題の課題を解決していかなければならないわけでございます。

それには地域住民が一日でも多くボランティア活動に参加され、住民全体の盛りあがりとともに、老人憩の家、地域集会所等を拠点施設とし真に地域住民の期待に応えられる地域社協づくりの基盤確立が急務であると存じます。

どうか皆様方の暖かいご支援によりまして心のかよいあった期待される福祉社会と、みんなが明るく生きがいのある生活ができる、町づくりの実現をめざして活動してまいる所存でございますので一層のお力添えをお願いいたしまして新年のごあいさつといたします。

福祉は豊かな社会の基礎
人間らしさを見い出す

城東区地域振興会長　吉田定治

謹しんで新年の御祝詞を申しあげます。

平素は、当城東区地域振興会、赤十字奉仕団に対しまして、会長さんをはじめ役員の皆様方、並びに会員の方々に暖かいご協力と、ご支援をいただき厚くお礼申しあげます。

おかげをもちまして当会の各種の事業も順調に進展いたしておりますことを厚くお礼申しあげます。

城東区社会福祉協議会は結成以来、はや三十二年を経過いたしました、その間会員各位には、自己の職業をも犠牲にして社会福祉の向上に多大の成果をあげてこられましたことは、私ども深く感銘いたしているところでありまして、その尊い人間愛、社会愛の精神を基調とされている活動は、三十数年の歴史を有される伝統の上に輝き、今もなお脈々と流れ続けております。

福祉とは、すべての人が常に健康で文化的な生活と、権利を社会全体が保障する制度であり、そして、それは豊かな社会づくりの基礎であるといえると存じます。

また、従来の福祉は、画一的な手当の支給や、施設の整備にとどまっていましたが、これからは、もっと人間らしさのかかわりの中に福祉施策の展望を見い出していかなければならないと存じます。

こうしたなかで、会員各位には、人間性豊かでうるおいのある町づくりを目指され、父子家庭実態調査等、各種調査をはじめ、心配ごと相談等、生活に密着した、しかも複雑な問題に取り組んでいただいておるのでありまして、皆様のご苦労には、心から敬服申しあげているところでございます。

また、今年の経済情勢は昨年にもましてきびしくなると予想されています。

このような時機に皆様が一致協力され、ボランティア活動を通して、幅広い実りある地域福祉のためにご活躍されますことをご期待申しあげる次第でございます。

最後になりましたが、城東区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、ご多幸をお祈りいたしまして私の新年のお祝のことばとさせていただきます。

区政の一層の伸展と地域社会へ
「心の福祉」のひろがりを

城東区長　安藤貞輝

あけまして、おめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども、すがすがしく新年をお迎えのことと、心からおよろこび申しあげます。

私、当区に赴任いたしまして初めての新年を迎えたのでありますが、昨年は皆様方の市・区政各般にわたるあたたかいご理解とご協力をいただき、おかげをもちまして、区政もきわめて円滑な進捗をみることができ、また着任早々より格別のご支援を賜わったところでありまして、衷心より感謝申しあげ、厚くお礼申しあげる次第でございます。

昨年もまた、経済の情勢は、世界的な不況を反映して、非常にきびしい状況のままに推移したのでありますが、本市におきましては引き続く厳しい財政状況のもとではありましたが、都市基盤の整備や福祉施策の一層の充実に努めてまいったところであります。

当城東区におきましても皆様方のご協力によりまして、学校・公園・道路・下水等、生活環境の整備も着々と進んでまいりましたし、地域社会におきましては、地域集会所や老人憩いの家などのコミュニティ施設も、皆様方のご熱意のもとに次第に整いをみせてまいっており、また区内団体等におきましても、社会福祉、地域振興、体育・文化の活動をはじめとして、各層各団体の熱心で活発な活動が展開される一方、区民こぞっての城東まつりや、青少年健全育成へ地域を挙げてのとりくみなど、力強い連帯感のたかまりの中に、コミュニティ伸展への一層の希望をみたところであります。

城東区社会福祉協議会におかれましても、例年見事な実績を挙げられている共同募金運動をはじめ、既に八回目を数えた硬貨募金運動、敬老月間の運動、善意銀行の運営等々、地域社会福祉協議会ともども地域福祉の拡充向上に多大の成果をおさめてこられたのでありまして、各位のご熱意とご努力に深く敬意を表しますとともに、当社会福祉協議会の愈々伸展を、まことに同慶に存ずるところでございます。

迎えました本年は、私共のこの大阪を、世界にひらかれた国際都市・文化都市へと大きく発展させようとする「大阪二十一世紀計画」「大阪築城四百年まつり」の幕あけとなり、活力ある新しい大阪への気運のたかまりに大きな展望のひろがりを期待するのでありますが、こうした都市の発展も、都市に共に生きる、人と人との暖かいつながりが基盤となってこそ、大きく期待できるものと思うところであります。

文化の時代、心の豊かさの問われる時代、高齢化社会への移行、市民ニーズの多様化等多くの課題があるところでありますが、時代に相応しい、幅ひろく細やかな施策の推進とともに、皆様方のご援助をも得て、地域社会に一層あたたかな「心の福祉」がひろまるよう努めたいと念願するものであります。

年頭にあたり、新らたな決意で、区政の一層の伸展と、ふれあいのある心豊かなまちづくりに邁進する所存でございます。

どうか本年も一層のお力添えを賜わりますようお願い申しあげますとともに、ご健勝で幸多き年でありますよう、心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

コミュニティの広がりは
家庭婦人の意欲から

城東区婦人団体協議会長　中津政子

あけましておめでとうございます。

皆々様には、ますますご健勝で、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、私共婦人団体協議会に対しまして、ひとかたならぬご高配を賜わり誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、当会の各種事業もより一歩発展し、会員の学習意欲もますます高まっているところでございます。

当会では、昨年、「婦人のつどい」や「高齢化社会問題学習会」を開催し、これからの地域福祉について学んで参りました。

昨今の青少年問題、急速な高齢化社会への移行等、地域社会のかかえる諸問題解決へ向け、更にコミュニティの和を広げていくことが大切だと痛感いたしました。

婦人の社会参加の意義も込め、微力ながら、地域福祉の向上に邁進して参りたいと決意しております。

終わりになりましたが、城東区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、皆さま方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、年頭にあたってのご挨拶とさせていただきます。

成人の日記念のつどい

開催前の入口での楽しいひとときー

晴れて成人式を迎えられるみなさんの新しい人生の門出をお祝いして、成人の日記念のつどいを開催します。

◎とき　昭和五十八年一月十五日（祝）午前十時

◎ところ　城東区民ホール（電話九三二―二〇〇〇）

◎内容　第一部　記念式典

第二部　「みんなで楽しく」

出演　大阪市立城陽中学校吹奏楽部

城東区青年団体協議会

◎参加出来る方　昭和三十七年四月二日から、昭和三十八年四月一日までに生まれたかた。

新成人者への案内状は差しあげておりませんので、お誘い合わせのうえご参加ください。

先着七百五十名の方に大阪城東ライオンズクラブから記念品の贈呈があります。

お問い合わせは、城東区役所社会教育係へ（電話九三二―一三五一）

榎並　手作りアスレチックに汗

広報板設置で円滑化

榎並連合子ども会は、十一月十四日（日）、榎並小学校々庭で、〝第二回エナミアスレチック大会〟を開催しました。

当日、四百名の参加者は、手作りのアスレチックに汗を流し、たのしい一日を過ごしました。

また、十二月五日（日）十三ケ所に分散して恒例の〝もちつき大会〟を実施しました。

今後の予定としては、一月、二月の間に十三ケ所で、それぞれプログラムを組み集いを開く予定です。

三月には、卒業・進学の会員と会員資格のなくなる子ども達が対象の行事（社会見学など）と、新入会員の歓迎会も行う予定です。

青少年指導員会は、校下の中学生に呼びかけチームを結成し、十月二十四日開催の大阪市中学生親善ソフトボール大会に出場しましたが残念ながら当校下代表は、区予選で敗退しました。

また、十二月には、三回の指導ルーム（夜間巡回指導）を実施し、非行防止につとめました。

少年補導員会は、十二月五日、研修をかねて、養護施設を訪問しました。

防犯委員会は、歳末夜警を実施。また、榎並連合町会では、五つの単一町会でも、静かで明るい歳末と新春を迎えられるようにと、夜警をおこないました。

榎並社会福祉協議会では、校下住民の要望であった「広報板」設置について準備を進めてきましたが、近く榎並小学校ブロック塀に取り付けることになりましたので、校下のニュース板として今後ご活用下さい。

また、十二月十一日（土）榎並会館で今年の納会を開催しました。

「校下の皆様、八十三年も、各種団体各自の活動はもとより、それだけにとどまらず、福祉向上を願うためには、各種関係団体で構成している社会福祉協議会の運営すなわち、各自の団体だけでは充分出来得ない事をも含めた福祉向上につながる活動を、協議の上進める社会福祉協議会の充実に向けてご理解とご協力の程お願いします。」

今福　―ソフトボール―

〝食べるものかいなアー〟

憩の家ももうすぐ完成

当今福校下には老人憩の家がありませんでした。

そこで、地元の長老、諸先輩、等の建設運動に呼応して、社協及び連合町会長以下の総意に依る建設促進陳情書を十月七日、大阪市民生局長に手渡しました。

その後、手続きが順調に進み、地元推薦の建設業者の献身的な協力により、十二月に地鎮祭を行う段階にまで進展してきました。

このことは、校下の老人のみならず、一般住民にも愛される「憩の家」になるものと思われます――。

秋たけなわの十一月二十一日、社協、連合町会にとって何んと素晴しい日だったことか……。

それは、何んでもない校下のソフトボール大会のこと、当校下では、この様な行事に全町会（十四町会）が揃ったと云うことであります。

当日、地元の高校グランドで「ソフトボール」、それは〝食べるものかいなアー〟という老いた町会長が早朝から声援に出て来る姿は微笑ましい風景でした。

始めに、前年度優勝チームより、優勝カップ返還、浅田会長のあいさつのあと選手宣誓があり熱戦の火ぶたが切っておとされました。

トーナメント方式で、十四チーム、Aゾーン、Bゾーンに分れて勝ち進んできたチームの中で、Bゾーンから決勝進出を果したチームを見て驚いたのは、そのマウンドに仁王立ちしているのは、勇猛な男性ではなく、見め麗しき女性であったことです。

それは、次から次へと立ち向う男性を切り捨てて決勝戦でわずかにホームラン一本与えたが、これはかすり傷で遂に優勝カップを手にした。麗しきエースが特に印象に残った一日でした――。

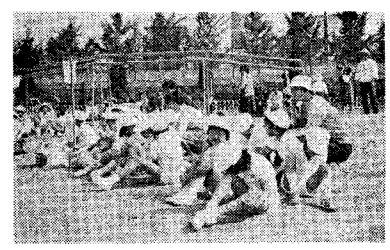
次回は、また嬉しいご報告が出来るよう地域福祉の向上に向けてこれからも頑張ります。

東関目　健全育成願う子供会

運動会・お楽しみ大会開催

当校下子供会結成後、第一回大運動会を十月三十一日、関目東小学校々庭で児童四百五十名、父母・兄弟約百三十名、来賓役員六十名の参加を得て開催しました。

また、十二月十二日、関目東小学校講堂及び教室で参加者約千名を得て、映画や劇、童中学校吹奏楽部の演奏、カラオケ等、もりだくさんの子供お楽しみ大会を開催しました。

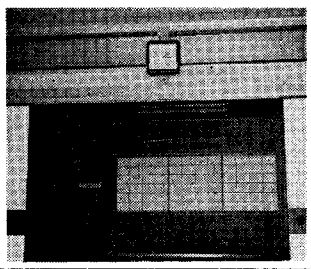


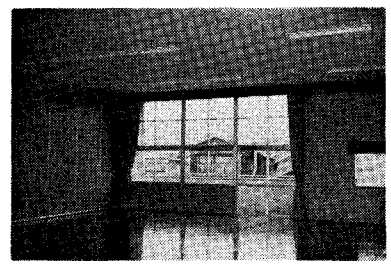
それぞれ青少年の健全育成を願って行いましたが、今後も推進して行きますのでご協力をお願いします。

東城　地域の拠点完成

社協活動充実

上　正面玄関　左下　老人憩の家（1階）
右下　福祉会館（2階）





放出　校庭にみちあふれる連帯感

第七回体育祭開催

十月十七日（日曜日）、放出社会福祉協議会主催の第七回体育祭を放出小学校運動場で開催しました。

当日、空は、どんよりと曇り、天候が心配されましたが、十町会がそれぞれ色とりどりの旗印のもと、老人から幼児に至るまで元気にユニフォーム姿に身を包み競技が始まるのを今遅しと身体を動かしていました。

田中社協会長より「地域の皆様の親睦と各町会の和の向上を目的とした体育祭を開催します」とのあいさつのあと競技の火ぶたが切っておとされました。

幼児の競走から始まったプログラムは、進むにつれ各人の熱気あふれる競技や応援がお互いの連帯感をよびおこし、それが校庭にみちあふれ実に美しいものとなっていきました。

それは、住民がひとつの大きな輪になった姿でありました。

昼食後「放出音頭」の民踊を行いました。

この音頭は、昨年、「老人から小さい子供に至るまでの人がどこでも気軽に歌い踊れる音頭を」ということで放出音頭作成委員会を結成し、歌詞を地域住民から募集し、選定の上、作曲伴奏、振付して作り出したものであります。

そして、昨年は、「はなてん音頭」の文字入りのゆかたも作り、PTAの方々の歌に合わせ、輪になって楽しく手をとり合って踊り体育祭をもりあげました。

心配ごと相談所

ご利用を

ひろく、住民の日常生活上の悩みや、問題を解決するために開いております。

どんなことでも心配なことがありましたら遠慮なく相談に来て下さい。

なお、相談は無料で、秘密を守ります。

○相談日＝毎週、月・水・金曜日、午後一時～四時

○場　所＝城東区役所一階心配ごと相談室

○法律相談日＝毎月、第四金曜日、午後一時～四時（受付三時まで、ただし人数制限有り）

○場　所＝城東区役所一階相談室

心配ごと相談事項別件数一覧　57/4～57/11まで

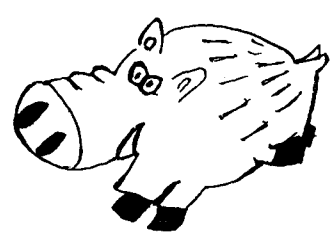
	相談事項	件数
1	生計問題	4
2	家族関係	12
3	職業、生業問題	2
4	健康、医療問題	3
5	結婚相談	1
6	離婚相談	5
7	住宅問題	9
8	財産問題	0
9	精神衛生	1
10	心身障害者（児）福祉	1
11	児童福祉、母子保健	0
12	教育、青少年問題	0
13	母子福祉	0
14	老人福祉	3
15	人権相談	0
16	事故関係	1
17	苦情相談	0
18	法律相談	65
19	その他	7
	計	114

善意銀行だより

十二月一日号で、ご報告以降の預託者は。次のとおりです。

奥田　健司様　五〇、〇〇〇円
中野　京子様　三八、〇〇〇円
泉谷　昭様　五〇、〇〇〇円
文谷　多紀代様　二〇、〇〇〇円
清現寺婦人会様　三〇、〇〇〇円
匿名　五、〇〇〇円

ありがとうございました御意思は、有意義に役立たせていただきます。



地名の由来（6）

鴫野

この付近一帯は旧大和川のデルタ地帯であり、大阪城の東北部は、むかしは見渡すかぎりの水田でありました。

その水田にシギが群がっていたというようなところから鴫野と名づけられたといわれています。

鴫野の地は対岸の今福とともに大阪冬の陣の激戦地として、その名は後世に語り継がれたものです。

もとの鴫野は大阪環状線の両側、つまり現在の東区弁天町をも含む地域で、大阪城とは鴫野橋で結ばれていました。

（城東区史より）

共同募金運動・歳末たすけあい運動

―― ご協力ありがとうございました ――